

日々の業務を通して 人材育成につなげる

第129回市町村職員を対象とするセミナー
「市町村栄養士の人材育成について」

東北町役場 保健衛生課
課長補佐 小沼奈緒美



目次

1. 東北町の概況・健康課題
2. 東北町栄養士の業務
3. 業務を通して人材育成につなげる事例
4. 今後の方向性

東北町の概況

	平成17年	平成28年
人口	20,016人	18,316人
出生数	125人	115人
死亡数	263人	268人
65歳以上人口	5,517人	6,114人
高齢化率	26.6%	33.2%
介護保険認定率	22.0%	22.3% (H27)



	男性	女性
平均寿命	77.2歳 全国ワースト32位	86.5歳 青森県で唯一全国平均超

人口 保健衛生課事業概要より
H28年介護保険事業状況報告より

東北町でも少子高齢社会が進展している。

東北町の健康課題



① **肥満者**が多い。

子どもから大人まで

② 子どもの**虫歯**が多い。

③ **糖尿病予備軍・死亡者**が多い。

男女とも県平均より高い状況（成人）

④ **自殺**が多い。

特に働き盛り（40歳～64歳）の男性

東北町健康増進計画 **あっぱれ!!東北21(第2次)**

～栄養・食生活～目標項目～

- 肥満傾向にある子どもの割合とやせの減少
- 適正体重を維持している者の増加(肥満の減少)
- 食塩摂取量の減少
- 朝食を欠食する人の減少
- 野菜摂取量の増加

東北町保健衛生課業務概要

東北町保健福祉センター・東北町上北保健福祉センター

職員

課長・副参事2名・課長補佐2名(保健師1名・管理栄養士1名)
事務職3名・保健師5名・管理栄養士1名

保健予防係

保健指導係

健康増進係

環境衛生係

センター管理

・管理栄養士2名配置(各保健センター各1名)
職名 課長補佐(経験年数21年)
栄養士 (// 3年)



東北町ゆるきゃら
シジミール

平成29年度東北町行政栄養士の主な業務

(厚生労働省:地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針より)

指針項目	業務内容
1 組織体制の整備	関係機関との連携、体制づくり 栄養改善業務の総括
2 健康・栄養課題の明確化とPDCAサイクルに基づく施策の推進	乳幼児健診問診項目のまとめと分析 特定健診結果・生活習慣問診項目のまとめと分析(成人) 健康増進計画 あっぱれ!!東北21の推進
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防徹底のための施策の推進	特定保健指導、健診結果説明会
4 社会生活を自立的に営むために必要な機能の維持及び向上のための施策の推進	・次世代の健康:マタニティー教室 乳幼児健診 おいしくぱくぱく教室、ヘルシーっ子教室、小学校クッキング教室、ジュニアクッキング、子どもすこやか相談、訪問指導 ・高齢者の健康:楽しく健康講習会、シェイプアップ教室、出前健康講座、男の料理教室、訪問指導
5 食を通じた社会環境の整備の促進	管理栄養士・栄養士の育成(学生) 食生活改善推進員の育成、食育推進のネットワークの構築 健康危機管理への対応

東北町の目指す姿と目指す職員像

東北町目指す姿(施政方針)

笑顔・元気・活力にあふれ
未来に羽ばたくとうほくまち

- 1.みんなが元気になる健康福祉の町
- 2.未来を切り開く人を育む健康・文化の町
- 3.活力と交流あふれる産業の町
- 4.きれいで安全・安心な生活環境の町
- 5.発展を支える生活基盤が整った町
- 6.みんなで協力してつくる自立したまち



目指す職員像

住民一人ひとりの人権を尊重し、豊かさを実感できるまちづくりに向け、その能力を日常の業務や施策に反映できる職員

専門職
保健師
社会福祉士
技術職等

栄養士:住民の暮らしに寄り添いながら「食」通じて豊かさを実感できるまちづくりに向け、その専門性を日常の業務や施策に反映できる職員

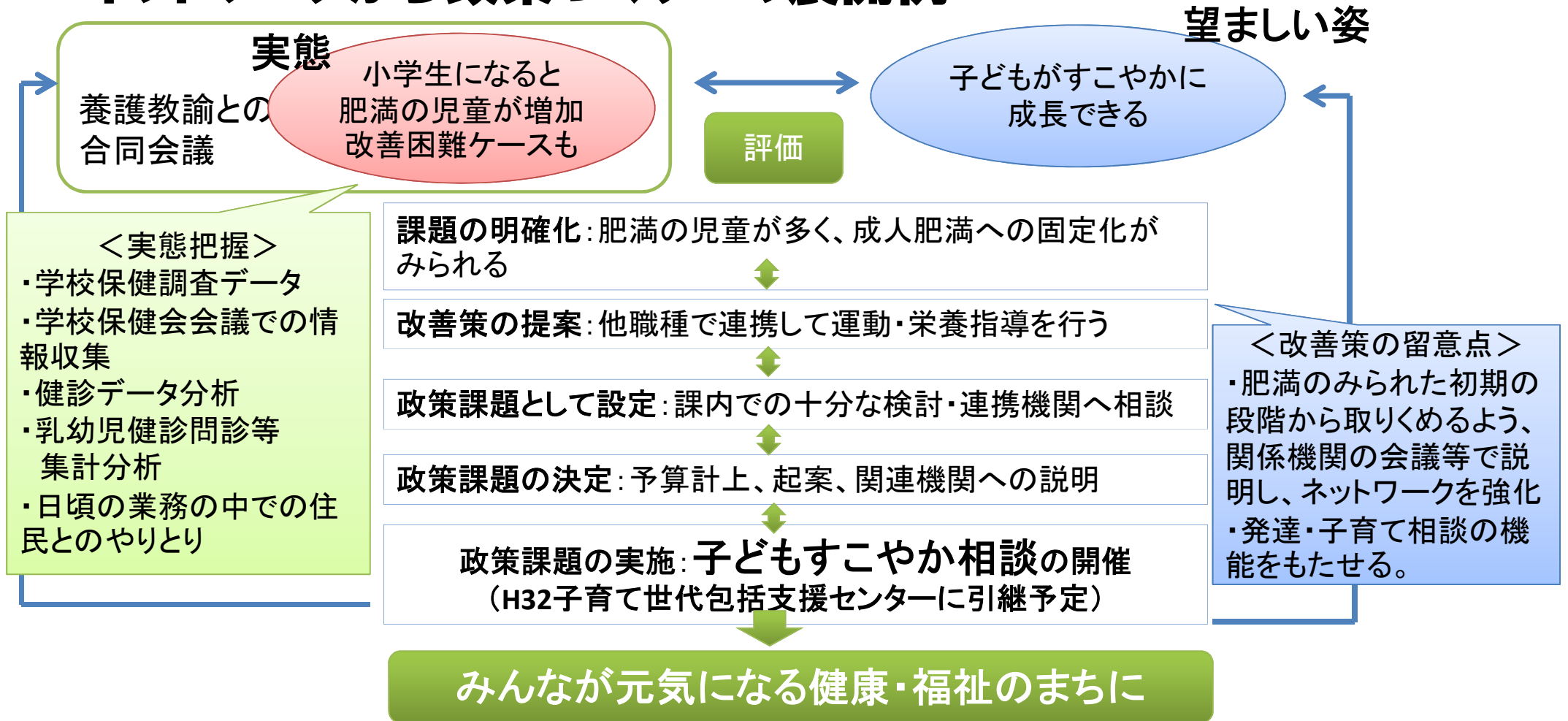
担うべき役割

・政策形成:創造的行政運営のため地域の課題が何かを的確に把握し積極的にその課題を解決できる。
・業務遂行:職責に応じて、先見性、知的能力、対人能力、管理能力等総合的に発揮し、組織力として業務を遂行できる。

専門職
保健師
社会福祉士
技術職等

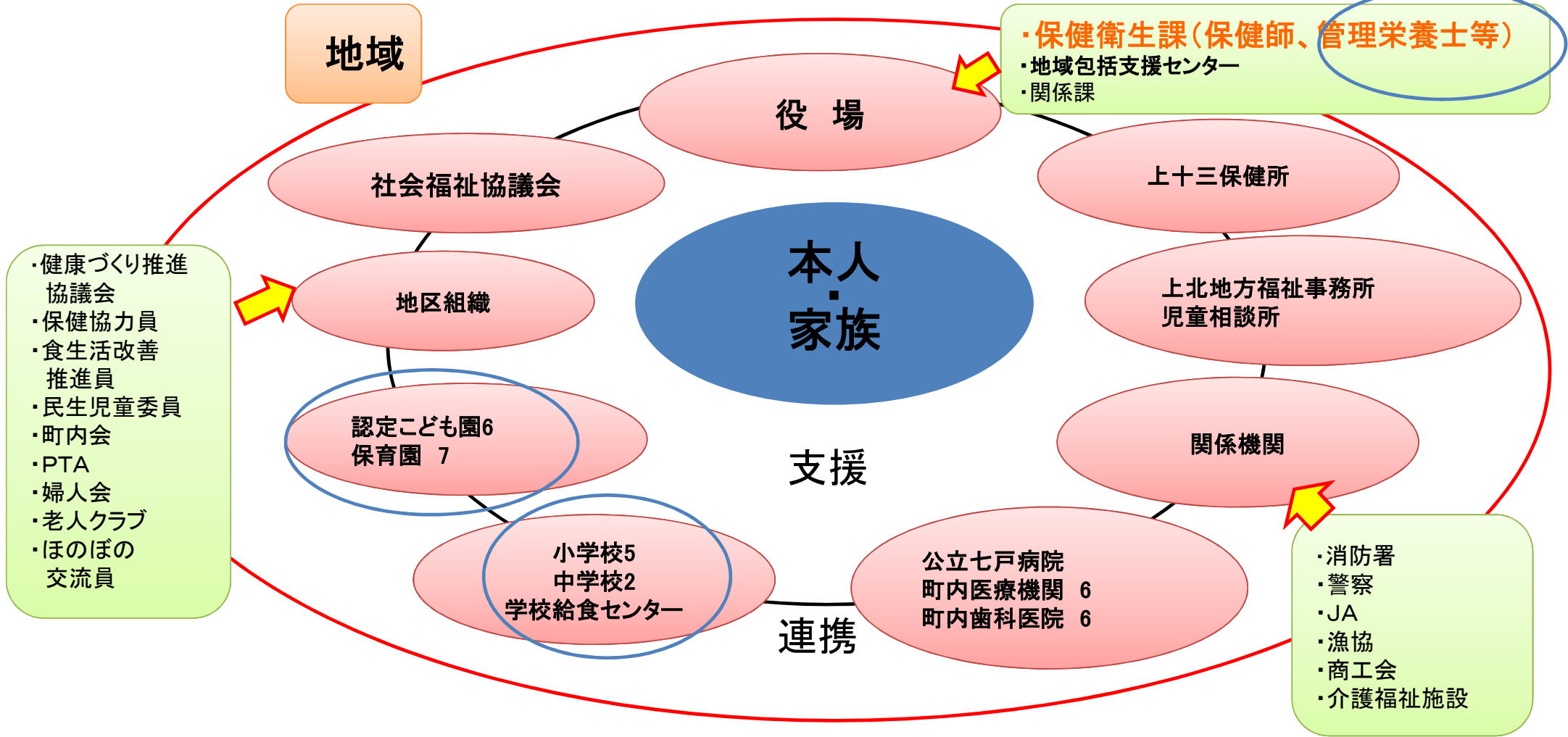
栄養士:町の施策方針に基づき、生涯にわたる健康・生きがいづくりを「食」を通して実現するため、科学的知見を活用しながら取り組むべき課題を見極め、地域の様々な人々と連携しながら政策づくりに取り組むことができる。

地域と学校保健の連携 ～ネットワークから政策づくりへの展開例～



東北町保健・医療・福祉包括ケアシステムネットワーク

事例 1



地域と学校保健の連携

～ネットワークから政策づくりへの展開例～

○人材育成のさらなる展開にむけて

- ・小中学校だけではなく保育園、その他すべての関係機関と連携する方策を検討・実行し、住みやすく安心して子育てできる町の実現を目指した政策づくりへと発展させることで、政策づくり能力向上が期待できる。
- ・新人栄養士と一緒に事業に従事することで、ネットワークづくり、政策づくりへの取組み姿勢を学ぶ機会となり、新人職員の専門職としての成長が期待できる。

・広域での人材育成の取組み(H29年～)

○保健所管内行政栄養士連絡会議及び研修会の実施

・意見交換会の事例を参考に、開催に向け保健所に相談
今年度より、保健所主催、市町村持ち回りの会議及び研修会を年5回開催予定

→一人配置の新人の育成を他町村栄養士がサポートできるとともに、中堅・管理期栄養士自身のスキルも向上

市町村持ち回り開催のため、開催地栄養士の企画・運営能力の向上に期待

1回目の成果として新人の他町村事業見学が決定

東北町栄養士 成長のステージ別とるべき行動・必要な能力案(H29作成)

	成長期	充実期	発展期
効率的な事業運営	既存事業の理解 充実した栄養教育の実施	事業マニュアルの作成 事業評価・内容の見直し	PDCAサイクルに基づいた、 10年先を見据えた業務管理
ネットワークづくり	地域住民・他職種と交流 地域資源・人材を知る	他職種・町内外組織との連携 地域人材の育成	外部組織と連携した食環境整備
政策づくり	町・国・県の政策を理解 法律・根拠の理解 地域特性の理解	課題を明らかにでき、優先順位をつける 健康づくり計画の策定	地域の目指す姿を描き、課題を政策につなぐ 危機管理の体制づくり
組織づくり	組織及び自分の役割の理解 報告・連絡・相談 実働(なんでもする)	事業運営のリーダー 後輩及び学生の指導 予算管理	組織全体の体制に貢献 栄養施策の管理体制づくり 人材育成の仕組みづくり
専門職としての発信	行政栄養士の役割の理解 地域分析、調査、集計の実施 他課、外部事業への参加 研修への参加	地域診断 成果を見せる資料作成 プレゼンテーション能力 内外事業での実績等発表	実践活動をまとめ発表する 栄養士の活動を内外にPR 特定分野における技術の所有 研修や学会への定期的な派遣

・日々の業務での人材育成 私の実践



○新人の育成

- ・日々のホウ・レン・ソウでワンポイントアドバイス
- ・新しい事業を立ち上げる時は後輩に相談し、経過を報告
- ・栄養士がプレゼンする会議はできるだけ見学してもらう
- ・できそうな事業はまかせ、細かく指導しない
- ・栄養士以外の職員からもアドバイスをもらうよう促す

○自分自身の成長のために

- ・日々、ネットワークづくりを心がける
- ・困ったり、いい案だと思った時は同僚に相談
- ・依頼された仕事はなるべく請ける
- ・平日の時間外業務をなるべくしない

課 題



- 栄養士の勤務先が保健衛生課のみで、ジョブローテーションに限界がある
- 体系的な栄養士の人材育成計画が作成されていない
→ 成長のステージや職位にあった能力を整理する
- 業務の精査
業務に追われる日々 → 政策づくりに集中できる環境へ

今後の方向性

- ・日々の業務の中に人材育成の視点を盛り込み、後輩も自分もどんな風に成長していけばいいのか、考えながら、業務に取り組み、成長する事で組織に貢献していきたい。
- ・行政栄養士の役割を常に意識し、事業の精査をしながら、時代にあった政策を専門職として発信していく。

ご清聴ありがとうございました

